

がくちよにだより

～宮川幼稚園 園だより～

教育評価
特集号

平成31年3月1日
芦屋市立宮川幼稚園
園長 山中 朱美

2月に保護者の皆様から回答をいただきました「教育評価」について、結果がまとまりましたのでご報告いたします。

【表の見方】

A：よくあてはまる B：あてはまる C：あまりあてはまらない
D：全くあてはまらない です。

上段の数字は回答をいただいた人数、下段の数字は割合を表示しています。
回収率は98パーセントです。

アンケート全体としては、AとBで80パーセント以上になり、おおむねよい評価をいただきました。しかし、これは幼稚園教育だけでなく、ご家庭での育ちや支えがあったのことに感謝しています。また、この結果に慢心することなく、CやDの評価をいただいていることを真摯に受け止め、幼稚園全体としても個別にもまだまだ保育を見直していかなければならないと考えています。CやDの時の指導の足りなさを振り返り、またCやDの時こそ、「自分のことを受け入れてくれる先生がいる」「受け止めてくれる先生がいる」「わかってくれた先生がいる」「一緒に考えてくれる先生がいる」・・・そんな幼稚園でありたいです。

I 望ましい保育はできていますか

	A	B	C	D
① お子さんは幼稚園に喜んで通っていますか。	83 85%	10 10%	5 5%	0 0%
② お子さんは行事や遊びを通して成長していますか。	76 78%	19 19%	2 2%	1 1%
③ お子さんは挨拶や片付けなど基本的な生活習慣を身に付けていますか。	28 29%	54 55%	16 16%	0 0%
④ お子さんは友達とのかかわりを深めていますか。	62 63%	28 28%	6 6%	2 2%
⑤ お子さんは自分から行動する態度を身に付けていますか。	37 38%	49 50%	11 11%	1 1%
⑥ お子さんは様々な表現活動を楽しんでいますか。	58 59%	32 33%	7 7%	1 1%
⑦ 絵本に親しむ機会は増えましたか。	34 35%	48 49%	11 11%	5 5%

③挨拶について、例えば朝の登園時、門のところの子どもたちは、「お家の方に『行ってきます』をする」「先生と挨拶をする」「保育室へ早くいきたい」「友達も来た」と4つのことを一度にするのはなかなか難しいです。でも、玄関のあたりに立っているとよく挨拶

ができます。挨拶が自然にでてくるような雰囲気をごちらが作ります。言葉が出なければ、タッチ挨拶もあり。笑顔あいさつも」あり。言わせることはしていません。年長の3学期は「小学校の練習ね」と挨拶を言わなかったときは促しています。片付けについては、幼稚園ではみんなよく片付けていると思います。

II 幼稚園として望ましい環境づくりができていますか。

	A	B	C	D
⑧ 幼稚園は子どもたちが心地よく過ごせる環境ですか。	77 79%	20 20%	1 1%	0 0%
⑨ 幼稚園は子ども達の豊かな感性や気付きを育む環境ですか。	78 80%	18 18%	2 2%	0 0%

⑧心地よく過ごせるということは「安心で安全」な環境でなければなりません。園内の環境や教職員とのかかわりがほぼ望ましいと評価をしてくださったことが、とても励みになります。しかし、こちらが「安心」と思った環境が、個別にはしんどい環境になっているという子どもさんもいます。概ね安心でも時には心配なこともあったことでしょう。そんなときに、保護者の方がいつでもどんなことでもお話して下さるような、信頼できる教職員でありたいと思います。

⑩幼稚園では子ども達からの「気付き」を大切にしています。職員は気付いてほしい環境を様々に工夫する努力をしています。「気付き」は豊かな感性とともに⑤の自分から行動する態度にもつながります。今後の学習意欲の基礎になる「自分から＝主体的に」を特に大事にしています。「主体的に」が難しいときもあります。その時はスモールステップで、またいろいろな角度からアプローチをして、時にはそっと背中を押すなどして、自分から1歩を踏み出せるように支えます。

III 家庭や地域との連携について

	A	B	C	D
⑩ 行事等の参観を通して子どもの様子や幼稚園の取組が伝わってきますか。	79 81%	17 17%	0 0%	2 2%
⑪ 園だより、クラスだより、担任の話で子どもたちの様子がわかりますか。	77 79%	19 19%	2 2%	0 0%
⑫ 保育参観の時期や内容は適切ですか。	62 63%	32 33%	4 4%	0 0%
⑬ 幼稚園は家庭との連携を深めていますか。	59 60%	35 36%	3 3%	無回答1 1%
⑭ 幼稚園は地域の人とのかかわりを深めていますか。	49 50%	45 46%	4 4%	0 0%

⑫保育参観についてはご家庭の事情により、難しい時期に重なることもあったと思います。

⑭今年度、5歳児については「芦屋市就学前カリキュラム」に基づき宮川小学校区の打出保育所、こばとぽっぽ保育園の5歳児クラスと交流する機会が増えました。

裏
へ
続
く

IV 健康な体づくりについて

	A	B	C	D
⑮ お子さんは自分からすすんで体を動かして遊んでいますか。	63 64%	31 32%	4 4%	0 0%
⑯ お子さんは以前より体力や運動機能が向上しましたか。	66 67%	28 29%	4 4%	0 0%

宮川幼稚園の研究テーマが「思わず体を動かして遊びたくなる環境を考える」で、H27年度から取り組んできました。近年、「子どもたちが体を動かして遊ぶ時間が減っている」という社会状況も鑑み、体を動かして遊ぶことが好きなお子さんはもちろん、あまり好きではないお子さんも、「気付いたらいつの間にか体を動かして遊んでいた」ということが就学前には大切ではないかと考えた研究テーマです。小学校体育のように、決められた一つのことをみんなで学習するのではなく、いろいろな遊び場の中で自分がやってみようと思う・選ぶ（＝主体性）運動遊びから始めます。そこで楽しかったことを「好きな遊び」の時間にも自分たちで遊び場を作っています。

今年度はさらに、鬼ごっこもよく遊びました。鬼ごっこは「体力」「瞬発力」「敏捷性」「平衡感覚」「空間認知力」「ルール創造」「仲間意識」・・・など、実にたくさんの学びがある遊びです。さらに防災教育的にも「危機回避能力を身に付ける遊び」と言われています。道具がなくてもいつでもどこでも誰とでも楽しくできる遊びです。公園に行った時には是非とも子どもさんと一緒にやってみてください（大人はちょっとしんどいかもかもしれませんが）大人が本気で追いかけたり、手加減したり、わざとつかまったりなどすると、子どもたちは本当に大喜びです。その顔を見るのもとっても楽しいですよ。

多くの方に、「進んで体を動かしている」「体力や運動機能が向上」と評価していただきましたが、「うちの子はまだもう少しかな」と思っておられる方々にも、「うちの子も進んで体を動かすようになってきたかな」と思ってもらえるようにきっかけや環境づくりをさらに進めたいと思います。

お忙しいところ、アンケートの回答にご協力いただきまして、本当にありがとうございました。自由記述につきましては別紙にまとめておりますので、ご覧ください。なお、自由記述につきましては、個人が特定される表現などは、一部修正しております。また、個別に対応いたしましたことについては、掲載してないものもあります。ご理解ください。

至らぬところも多々あったと思いますが、保護者の皆様にも暖かく見守っていただいたことに感謝いたします。いただいたたくさんの励ましを力に、またご指摘やご意見を活かしながら、残り少ない3学期、また来年度に向けて職員一同、力を合わせてまいりたいと思います。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。